



羅針盤 No.18

東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

9月、長月です。猛暑のピークは越したと思われませんが、夏の疲れが残っていて体調も崩しがちな時です。まだまだ熱中症には要注意。早く体力を回復しましょう。

東日本大震災から半年が経ちます。過日、がれき処理特措法が成立して、最終的に費用は全額国負担と決まりました。時間がかかりましたが自治体にとっては明るいニュースです。また別に放射能汚染のがれきについても特措法が成立し、埋め立て処分の放射線基準値が大幅に緩和されました。しかし基準値緩和だけではまだまだで、取運、中間処理を担っている廃棄物処理業者にとっては、一日でも早く安全な除染方法の技術開発がなされることを切望しています。

残された資源をできる限り循環させるよう、東港金属株式会社は処理をお受けした産業廃棄物のリサイクル率を上げるために、輸送方法や処理工程の工夫をしています。身近なリサイクルパートナーとして、お気軽にご相談ください



★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの9月予測

営業部 Y の考察

- 鉄スクラップ** → 考察) 7月に続き8月も低迷し1,000円/トン下げました。各電炉メーカーの夏場の設備点検、韓国向けなどの輸出低迷が原因でしょう。9月は震災の建設工事も進み始めたことから、中旬には上昇に転じると見えます。
- 銅** → 考察) 8月は世界情勢の先行き不安や円高の影響で上げ下げが激しく、27日までに100ドル単位で下がることもありましたが、9,000ドル台/トンまで持ち直しました。しかし、9月は横ばいと思われれます。
- アルミ** → 考察) 銅と同様、最終的には下がりました。上物や缶などは低調です。9月は期待できないでしょう。
- プラスチック** → 考察) 為替と原油価格に影響されますが、中国などはまだまだ需要があるため、現状の為替でも変動は見られません。9月も変わらないでしょう。

8月予測の自己評価

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| 鉄スクラップ | × | アルミ | × |
| 銅 | ○ | プラスチック | ○ |

ISO認証組織情報の自主公開について

今やISO9001(品質)、ISO14001(環境)やISO27001(情報セキュリティ)等のマネジメントシステム規格(MS規格)認証制度は、ようやく市民権を得て、認証された組織(MS認証組織)は企業間取引や行政施策において一定以上の評価を得られる状況になろうとしております。しかしながら、MS認証組織において認証に係るいくつかの不祥事が発生し、このマネジメントシステム(MS)がこうした不祥事を抑止できないのではないとも見られ、MS規格を着実に運用している多くの認証組織からは自らの社会的評価が上がらないことへの不安が懸念されております。

このような状況下で、経済産業省は2008年に「マネジメント規格認証制度の信頼性確保のためのガイドライン」を発行し、「MS規格認証制度の信頼性を確保するために、(略)今後本ガイドラインが関係者によって適切に実行されることを期待し、経済産業省としても進捗状況をフォローアップするとともにホームページ等を通じて広く情報提供を行う。また、本ガイドラインの内容の継続的改善を図ることとする。」と謳っております。

このガイドラインのアクションプランの一つとして情報公開の推進があげられ、認証組織の情報を自主的に公開するプログラムが制定されました。

【認証組織情報自主公開プログラムの要旨】

1. 目的
 - ・認証制度の信頼性向上を目的としています。
 - ・認証組織が自らMSの構築・運用状況を公開することで、組織の信頼度を高める効果を期待しております。
2. 情報公開の概要
 - 1) 参加組織は自身のウェブサイトで、認証されたMSについての以下7項目についての情報公開をいたします。
 - ①方針、②目標、③認証対象製品・サービス・活動、④製品・サービスに係る法規制順守状況、⑤ステークホルダーとのコミュニケーション、⑥内部監査の状況、⑦マネジメントレビューの状況
 - 2) 認証を受けた全てのMSを情報公開の対象とすることを原則とします。
3. 公開
 - 1) 2011年8月31日に、MS認証懇談会のウェブサイトにて参加組織及び参加認証機関一覧表を公開開始しました。
 - 2) 8月31日以降については、MS認証懇談会ウェブサイト毎月末に更新します。



チャレンジ人生

(第3回)

「横山やすし漫才教室」で運よく関西テレビで吉本興業の若手芸人と競い優勝し、横山やすし師匠のおかげで、晴れて吉本興業の舞台に立つことになりました。当時吉本興業の舞台である「花月」は、なんば花月、梅田花月、京都花月の3箇所あり、私は、梅田花月が最初の舞台でした。

吉本興業は、それはきびしい会社で、最初横山やすし師匠の紹介ということもあり、大変期待されて呼ばれたため、新幹線は、グリーン車で劇場までタクシー、有名なホテルに泊まらせていただきました。しかし、客受けが悪くなると、新幹線は普通車、劇場までは地下鉄になり、最後は格安チケットの自由席、劇場まで自腹精算、ホテルもかなり安いビジネスホテルを自分で予約するところまで落とされました。舞台での持ち時間もはっきりしていました。

最初は、かなり客受けがよかったため、新喜劇の前でのトリをやらせていただいたこともありました。当時人気があった宮川大助・花子、オール阪神巨人の後に出了ました。持ち時間も異例の25分。しかし精進の甲斐なく、だんだん前の方の出番になり、持ち時間も10分になりました。それでも思い出せば吉本興業での仕事は楽しかったです。

当時まだ25歳だった私は、色々な芸人さんに親切にいただきました。特に中田カウス師匠、宮川花子さんには可愛がっていただき、一緒にテレビで漫才もやらせていただきました。この生活は、約2年続き、その間に、所属していた太田プロから名プロデューサーの澤田隆二さんに引き抜かれ東阪企画に入り、テレビのレギュラー、ラジオのレギュラーも務めました。

テレビは、フジテレビの「早起きチャンネル520」と言う番組。毎朝5:20スタート。ラジオは関西の放送局で、収録は東京でした。ただこのラジオの内容が非常にばかばかしく、私が担当のコーナーは、「真夜中にパンツの音を聞かせてください」と言う企画でした。実際に、真夜中に突然電話してパンツの音を拾うのです。女性ばかりでなく、男性の時もありました。くだらないコーナーでしたが、なぜか半年続きました。

今回は横山やすし師匠とのエピソードに触れて行きます。ではまた。

山本 兼嗣(営業部 統括課長)

※ 当社の情報公開は、9月中に当社ホームページ上にアップロードする予定で準備中です。